

研究指導 青木 孝弘 講師

中小企業が求める中小・地域金融機関の役割

—福島県内の中小企業事業所に焦点をあてて—

大川 楓

1.はじめに

援に問題が生じることが懸念される。

1.1 金融機関と地域密着型金融の経緯

2002年に不良債権問題の解決のための金融システム・経済再生プログラムとして、金融再生プログラムが発表された。この金融再生プログラムの中には、主要行とは異なる特性を有している中小・地域金融機関のリレーションシップバンキング¹のあり方を策定する(金融庁 2002)、という内容も含まれている。

金融再生プログラムの発表から1年後の2003年、金融庁から「リレーションシップバンキングの機能強化に関するアクションプログラム」が発表され、その2年後の2005年にはリレーションシップバンキングを、より具体的に「地域密着型金融²の機能強化の推進に関するアクションプログラム」が示された。この地域密着型の対象は、中小・地域金融機関とされ、地方銀行、第二地方銀行、信用金庫、信用組合³を指している。

その後、2007年からはこの取り組みを恒久的に進めることとなった。このことからわかるように、金融庁は、地域経済の活性化や中小企業金融の円滑化のための取り組みの推進を積極的に行ってきたといえる。

他方、金融機関の中には、貸し渋りや、既に融資している資金を期限前に強引に返済してもらう貸し剥がしを行う行為が見られた。そこで、金融庁(2009)では対策として「貸し渋り・貸し剥がし対策の検討について」と題した文章を公表しているが、金融庁が中小企業金融円滑化のための取り組みを推進しても、金融機関が協力的にならなければ、中小企業への支

1.2 中小・地域金融機関の実態

次に、中小・地域金融機関の実態を把握するために、金融庁(2015)が公表している中小・地域金融機関の主な経営指標のデータを基に全国の中小・地域金融機関のデータベースを作成した。図表1、図表2は金融機関の業態別に平均預貸率⁴を出したものであり、図表1は全国平均、図表2は福島県内の金融機関の平均を表している。図表1をみると全国平均預貸率は、中小・地域金融機関において減少傾向となっている。この結果から、金融機関は貸出業務へ預金を使用しているのではなく、他の業務へと預金を回しており、積極的な融資が行われていないという懸念が生じる。また、図表2より、全国平均と比較した場合、福島県内の金融機関の預貸率の減少が大きいことが読み取れる。このことから、2011年3月に起きた東日本大震災の影響が少なからずあると推測される。

図表1 業態別による平均預貸率の推移(全国平均)

種別	n	2012年3月期	2014年3月期	減少率
地方銀行	65	70.00	69.44	-0.56
第二地方銀行	41	73.51	73.26	-0.25
信用金庫	267	49.94	48.18	-1.77
信用組合	155	48.88	47.98	-0.89
合計	528	53.93	52.68	-1.24

図表2 業態別による平均預貸率の推移(福島県内)

種別	n	2012年3月期	2014年3月期	減少率
地方銀行	1	60.14	51.49	-8.65
第二地方銀行	2	55.01	52.2	-2.81
信用金庫	8	47.83	42.055	-5.78
信用組合	4	61.1925	57.4375	-3.76
合計	15	56.043125	50.795625	-5.25

¹ 融資取引に伴い、金融機関と借手企業の間で長期的に密接な取引関係となることを基盤としたビジネスモデル。

² アクションプログラム等で示された具体的に取り組むべき実務上のリレーションシップバンキング(金融庁 2003)。

³ 林(2014)によれば地方銀行・第二地方銀行は銀行法に基づき設立された普通銀行。信用金庫は信用金庫法、信用組合は中小企業等協同組合法に基づいて設立された協同組織金融機関。

⁴ 預貸率は、銀行の預金に対する貸出の比率を指す。

出典:金融庁(2015)のデータより筆者作成

続いて、東北 6 県の中小企業向け貸出先件数について調べる。図表 3 をみると青森県、岩手県、福島県での減少が大きい。減少がみられた 3 県のうち岩手県と福島県の 2 県の貸出先件数の減少は震災の影響によるものではないかと考えられる。

図表 3 中小企業向け貸出先件数(東北 6 県)

県別	n	2012年3月期	2014年3月期	減少数
福島	15	261,541	252,525	-9,016
青森	5	279,077	272,724	-6,353
岩手	11	249,432	247,452	-1,980
秋田	5	171,964	171,502	-462
山形	11	225,799	226,287	488
宮城	10	252,745	256,269	3,524
合計	57	1,440,558	1,426,759	-13,799

出典:金融庁(2015)のデータより筆者作成

2.先行研究

杉浦(2014)は、今後、地方銀行が地域中小企業と接する上で求められる姿勢として、日々のリレーション(顧客との長期的な関係)を重視し、経営課題を有する顧客企業に対する提案型営業を行う取り組みの重要性を指摘している。

次に星(2013)は、復興支援にみる地域密着型金融の課題を研究し、公的部門との連携不足、企業再生に関する技術・ノウハウのバラツキを課題としている。

続いて、東北財務局(2013)では、多くの金融機関が、人口減少を見据えた地域ごとの経済や産業の中長期的な見通しや課題を踏まえたビジネスモデルの確立に至っていないことを課題として挙げており、安定的な収益確保を図る実効性のあるビジネスモデルの構築が必要だとされている。

中小企業庁(2012)では、経営支援に対しての金融機関の対応度と中小企業の満足度の調査を行っている。金融機関側は十分対応できているという認識を持っていても、中小企業側が満足していない場合もあるという結果が出ている。

先行研究からは、金融機関という貸し手視点からの資金支援・経営支援の問題点や課題、それに対する取り組みが明らかにされており、金融機関を利用する借り手側の視点はまだ十分に解明されていない。本稿では、金融機関を利用する借り手側の視点を調

査し、福島県の中小企業事業者が求める中小・地域金融機関の役割について考察していく。

3.調査方法・サンプル

3.1 調査目的

福島県内の中小企業 500 社を対象に以下の 3 項目を明らかにするためアンケート調査を行った。

- [1]金融機関に対する満足度(震災以降)
- [2]金融機関に求める支援内容
- [3]金融機関に求める支援内容の効果

3.2 調査方法

調査対象企業は、福島県内に事業所を有する中小企業 500 社。そのうち、製造業は 250 社、非製造業は 250 社とした。サンプル台帳として、日経テレコム、福島民報社が作成しているふくしまニュースリリース、福島県ものづくり企業データベースに掲載されている企業や各県内商工会議所・商工会に登録されている企業を合わせたリストを新たに作成した。

サンプリングは、福島県統計課(2015)から福島県内を 7 地域(相双、いわき、県北、県中、県南、会津、南会津)に区分した所在地別民営事業所数の比率を算出し、層化抽出を行った。

実施期間は 2015 年 12 月 9 日から 2015 年 12 月 22 日まで。郵送法による調査票調査を実施した。

3.3 サンプル構成

500 社に郵送した調査票のうち、有効回答数は 167 となり、回収率は 33.4%となった。地域別にみた調査票集計理想値と集計結果は、図表 4 に示した通りであり、実際の分布に近い形の回答を得ることができた。

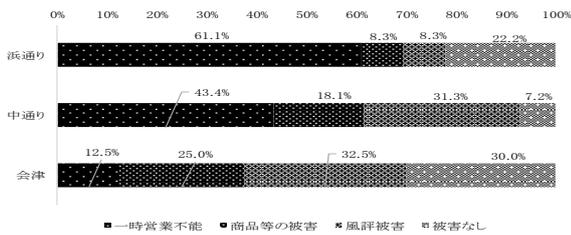
図表 4 調査票の集計理想値と集計結果

	県北	県中	県南	会津	南会津	相双	いわき
集計理想	24.0%	27.6%	9.2%	15.6%	2.2%	5.6%	15.8%
集計結果	24.5%	15.7%	11.9%	22.0%	3.1%	3.8%	18.9%

図表 5 は震災による被害状況を地域ごとにまとめたものである。浜通り>中通り>会津地方の順で被害

が大きいことがわかる。

図表 5 地域による震災の被害状況

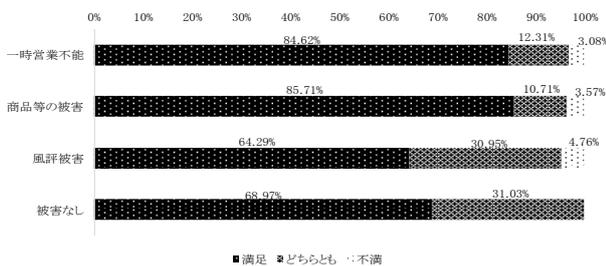


4.分析

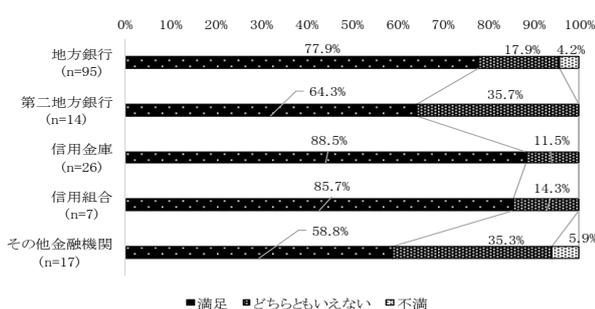
4.1 金融機関に対する満足度

被害状況と震災後の金融機関への満足度を分析したところ、結果は図表 6 の通りになった。これをみると被害状況が大きい企業で満足度が高いように見えるが、カイ二乗検定を行った結果、有意水準 5%での連関は見られなかったため、被害状況と震災後の金融機関への満足度は関連がないといえる。

図表 6 被害状況と満足度



図表 7 業態別の満足度



図表 7 は、業態別での満足度を示したものである。信用金庫、信用組合は地方銀行と比べて利用している企業数こそ少ないものの、相対的に満足度が高いことがわかる。その理由としてこれらの金融機関では、

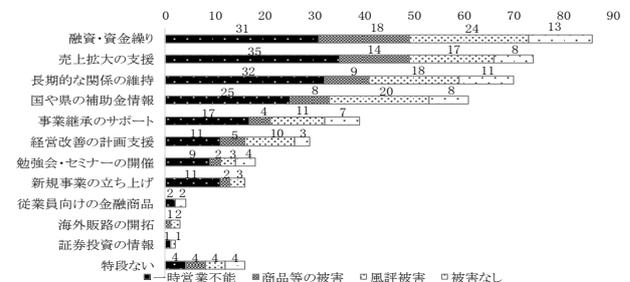
積極的に中小企業への資金支援・経営支援を行っている場合が多いと考えられる。なお、検定の結果、統計的差異は認められなかった。

4.2 福島県内の中小企業が求める経営支援の内容

被害状況により求める支援に違いはあるのだろうか。「金融機関に対し、もっとも期待するもの 3 つに○をつけてください」という調査票の項目に対して、最も回答数が多かったのが融資・資金繰りといった資金面での支援であった(図表 8)。次に多かったのは、売上拡大支援や長期的な関係の維持であり、資金面以外での支援を期待しているということが明らかになった。また、事業継承のサポートや経営改善の計画支援も少なくないため、金融機関に求められている役割は資金面だけの支援にとどまらないと考えられる。

さらに図表 8からは被害状況により、金融機関に求める支援に違いがみられることがわかる。被害状況が大きい企業では、新規事業の立ち上げを希望する回答が多かった。

図表 8 金融機関へ求める支援内容



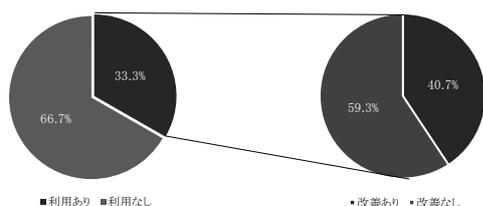
4.3 支援内容の効果

これまでの分析では、最も需要がある支援内容は融資・資金繰りといった資金面での支援であるが、1節でみたように預貸率の減少が続いており、期待に応えていない現状がある。そこで、2 番目に需要が大きい売上拡大の支援実態を明らかにしていく。売上拡大の支援では、取引先の紹介に対する需要があり、本稿ではビジネスマッチング⁵を中心にその効果を探る。

⁵ 取引先企業の経営課題を解決できる企業を紹介するサービスのこと。

図表 9 をみると、需要はあるにもかかわらず、実際にはビジネスマッチングがあまり利用されていないということがわかる。次に、利用した企業に対し、利用して経営課題は改善したかどうかを調査したところ、改善した企業は 4 割にとどまっているということから、売上拡大の支援はまだ改善の余地があるといえる。

図表 9 ビジネスマッチング利用状況と業績



5. 考察

分析結果から、すべての事業者が同じような支援の内容を求めているわけではないということが明らかとなった。被害状況によって金融機関へ期待する支援は異なっているため、地域密着型金融を行っていくべき中小・地域金融機関は復興状況を十分に考慮し、支援の仕方を柔軟に変えていく必要がある。また、資金面以外での支援も必要とされていることが判明した。福島県内の中小・地域金融機関の役割は、資金面の支援に加えて、ビジネスマッチングのような事業者同士をつなげる資金面以外の支援にも積極的に取り組むべきであろう。

この点、参考になるのは次の金融機関である。会津若松市に本店がある会津商工信用組合では、創業支援や取引先企業の経営課題解決を中心とした支援を行っている⁶。京都に本店のある京都信用金庫では、税理士とのタイアップや金庫内ネットワークを用いて取引先企業間同士を繋げることで中小企業をサポートしている⁷。

預貸率が低下している福島県内の中小・地域金融機関は、資金面の支援を充実させることはもとより、このような取り組みをモデルとして、中小・地域金融機

関としての役割を果たしていくことが望まれる。

6. 今後の課題

現在、地方の金融機関は少子高齢化や取引先企業の廃業、海外進出による利用者減少に伴い、以前と比べ、厳しい経営環境に置かれている。そのため、長期的な関係構築が不可欠な中小企業への支援よりも金融機関自体の経営存続に必死な金融機関も少なくはない。本稿では震災復興という特殊な環境に置かれている福島県において、借り手である中小企業の視点で分析を行ったが、今後の課題は、貸し手である金融機関の経営戦略を組み合わせるうえで中小・地域金融機関の役割を考えることとなる。

参考文献

- [1] 金融庁(2002)『金融再生プログラム』
- [2] 金融庁(2003)『地域密着型金融の機能強化』
- [3] 金融庁(2009)『「貸し渋り・貸し剥がし」対策の検討について』
- [4] 金融庁(2015)『中小・地域金融機関の主な経営指標』
- [5] 杉浦慶一(2014)「地方銀行による地域密着型金融の推進と M&A・事業承継支援業務」『日本財務管理学会年報財務管理研究』第 25 号 pp.58-68
- [6] 中小企業庁『金融機関の中小企業に行う経営支援の対応度と中小企業の金融機関から受ける経営支援の満足度』
- [7] 東北財務局(2013)『管内金融機関の中小企業金融円滑化の情報等』
- [8] 林幸治(2014)「第 10 章 中小企業金融」植田浩史他『中小企業・ベンチャー企業論』有斐閣コンパクト pp.191-213
- [9] 福島県統計課(2015)『平成 24 年経済センサス一活動調査結果(確報)』
- [10] 星貴子(2013)「東日本大震災復興にかかる金融支援における公的部門の役割と課題」『JRI レビ

⁶ 2015 年 1 月 23 日に会津信用商工組合の地域成長支援部副部長武田義幸様に協力していただいたヒアリング調査による。

⁷ 2015 年 11 月 5 日に開催された東北経済産業局主催経営革新等支援機関向け研修会(福島県)において京都信用金庫常務理事小倉純様の講話による。

ユ一』Vol.7 No.8 pp.84-106